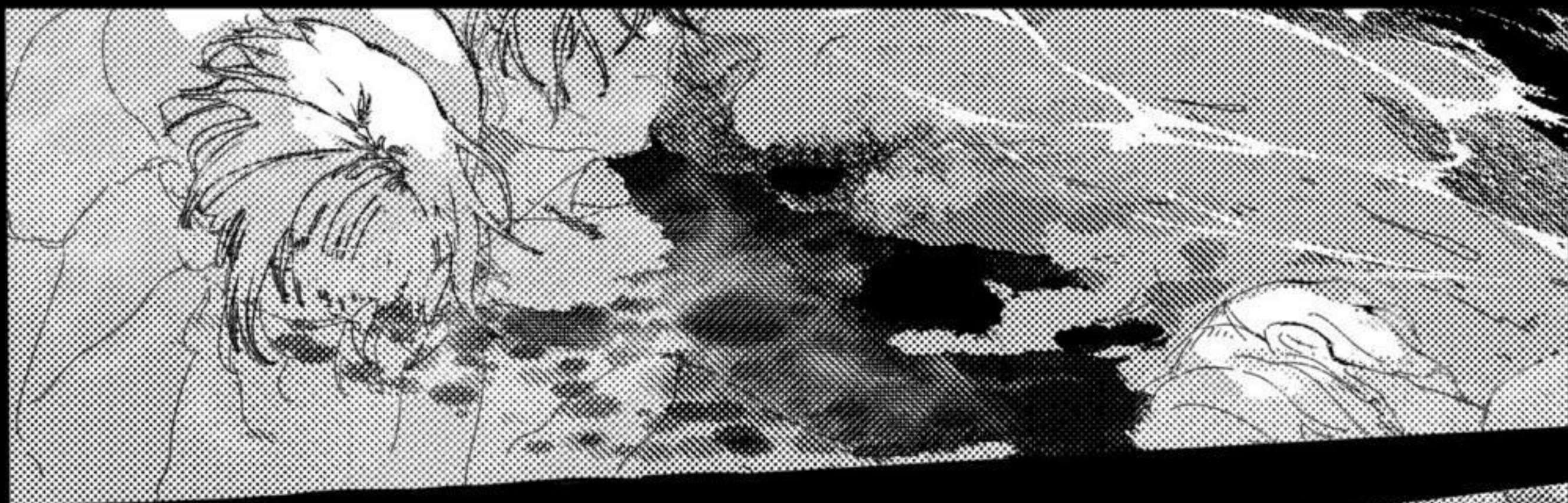
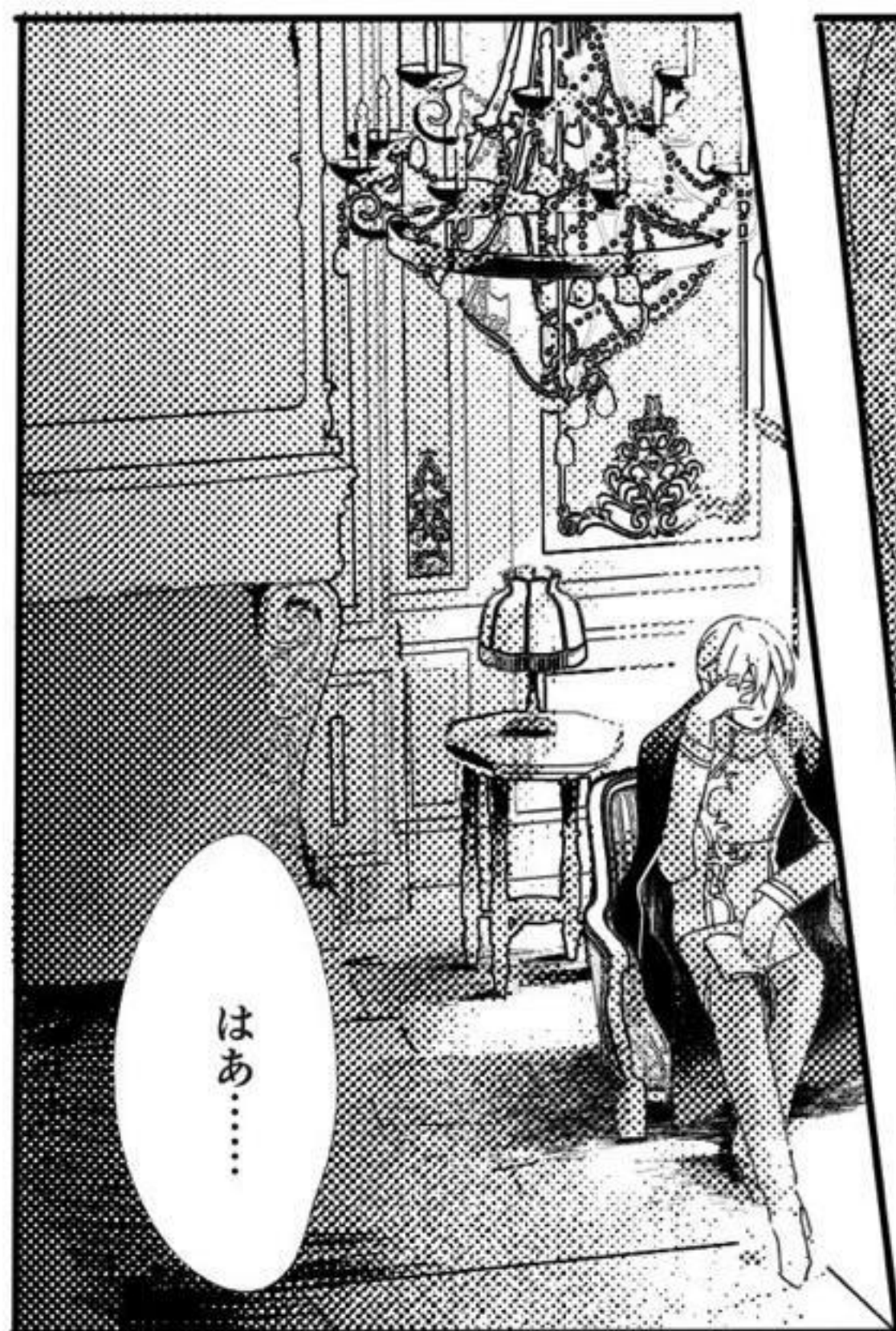


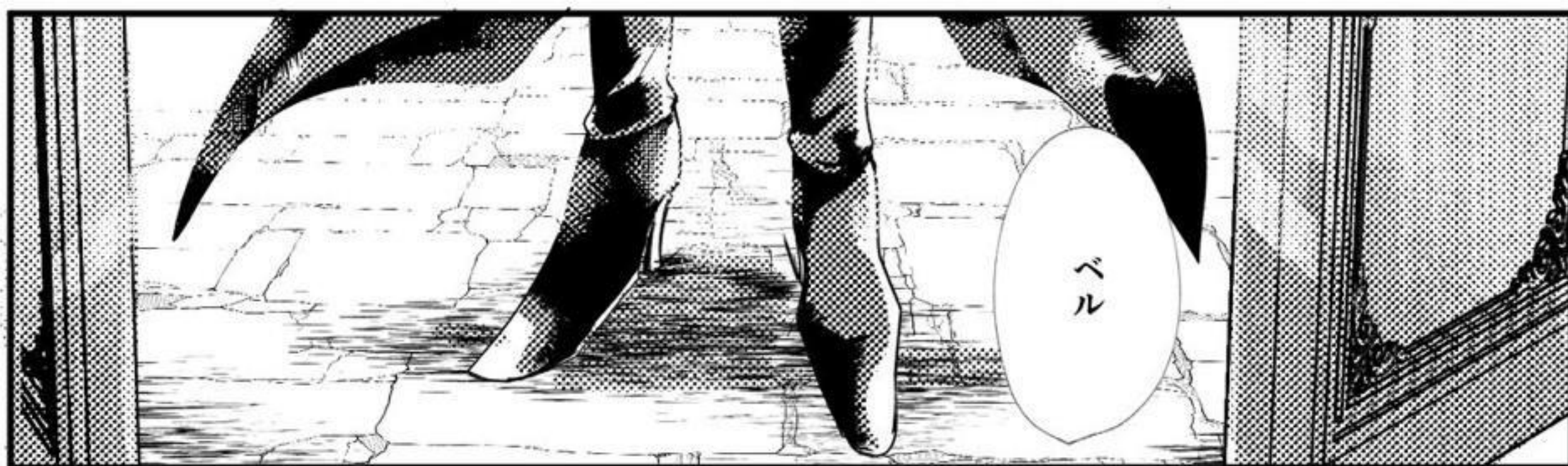


[R18]
—FOR—
ADULT
ONLY
[]

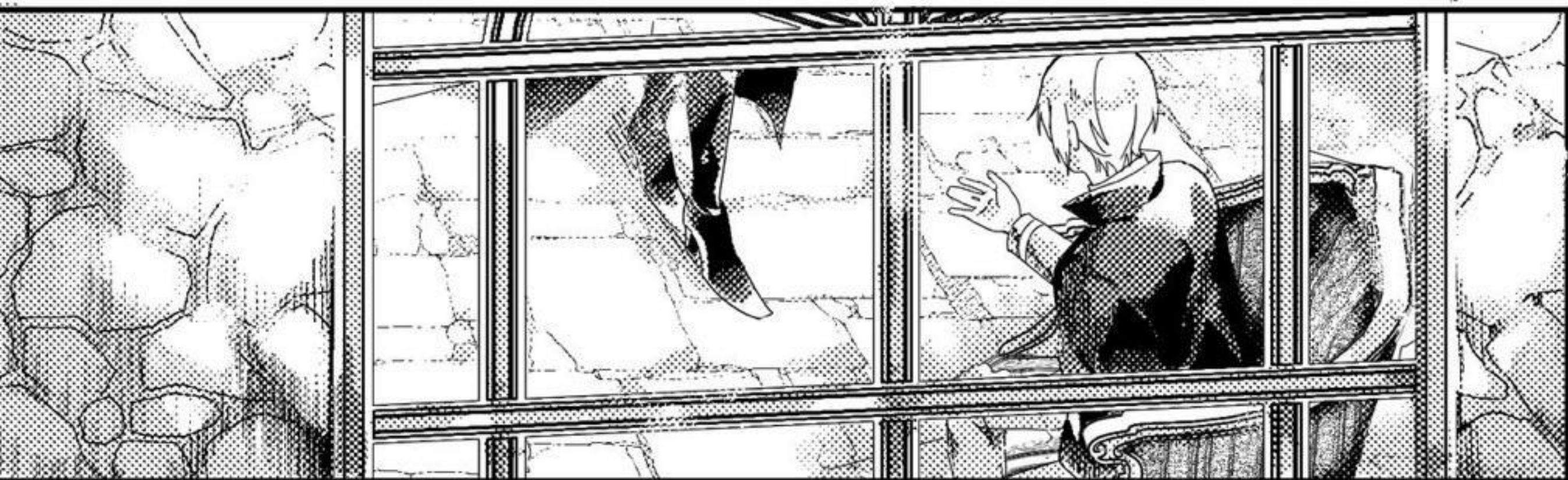




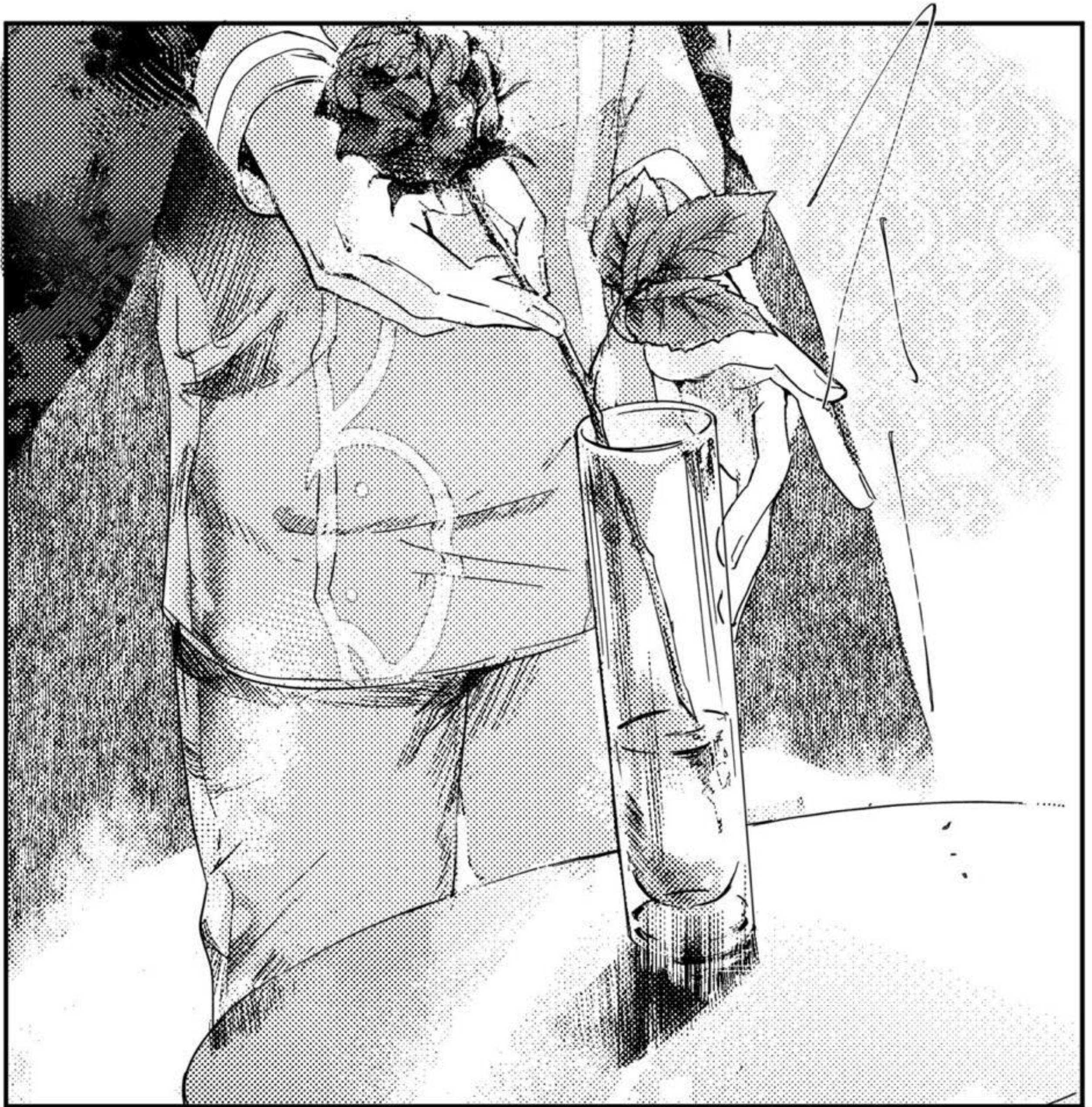








おかえり
サタン



それ飾んの？

ああ
綺麗だろ？

すぐ枯れるだろ
功績を示す戦利品としちゃ
不向きに見える

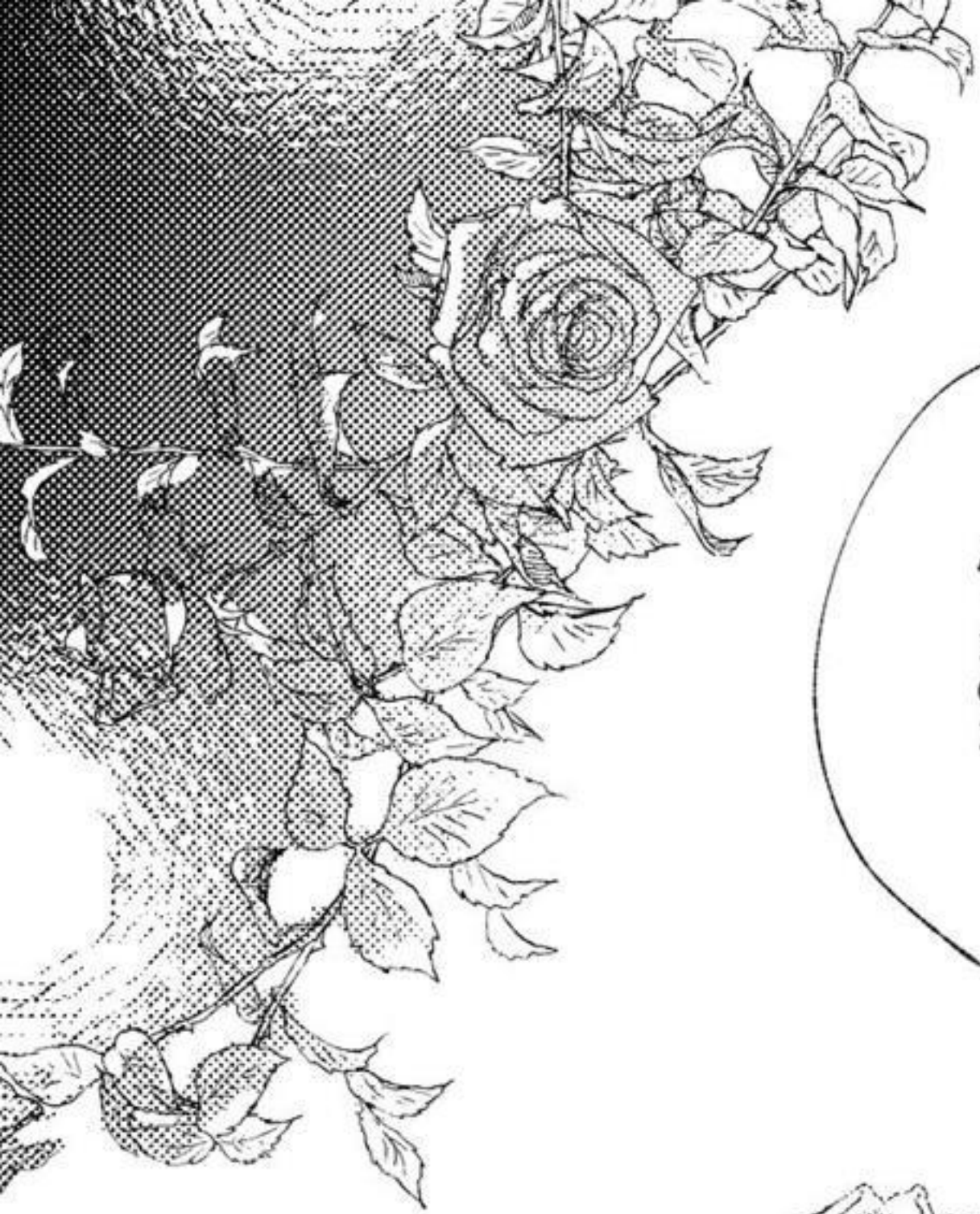
くく、戦利品か…

だからこうして
水を入れて
長持ちさせている

？

気に入ってんなら
外に植えたらどうだ？

次の休戦季まで
ここら辺の野原を
埋め尽くすくらい
の時間はあると思うぜ



目にした時に
思ったのだ



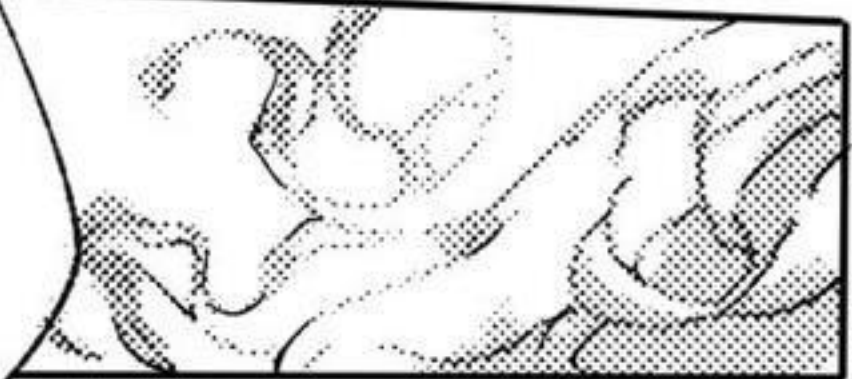
燃えるような赤と
その身に触れる者を
拒絶する荊棘

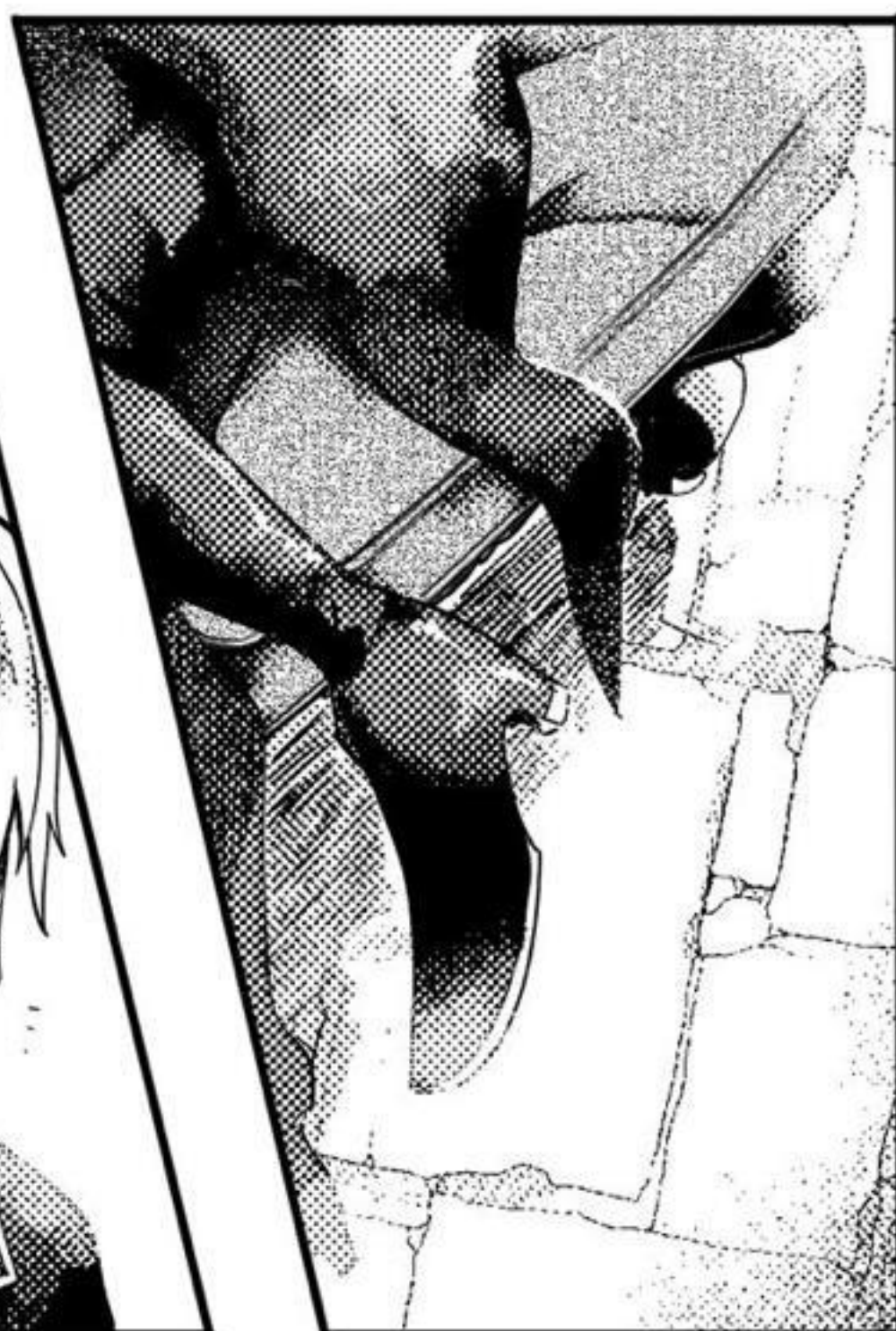


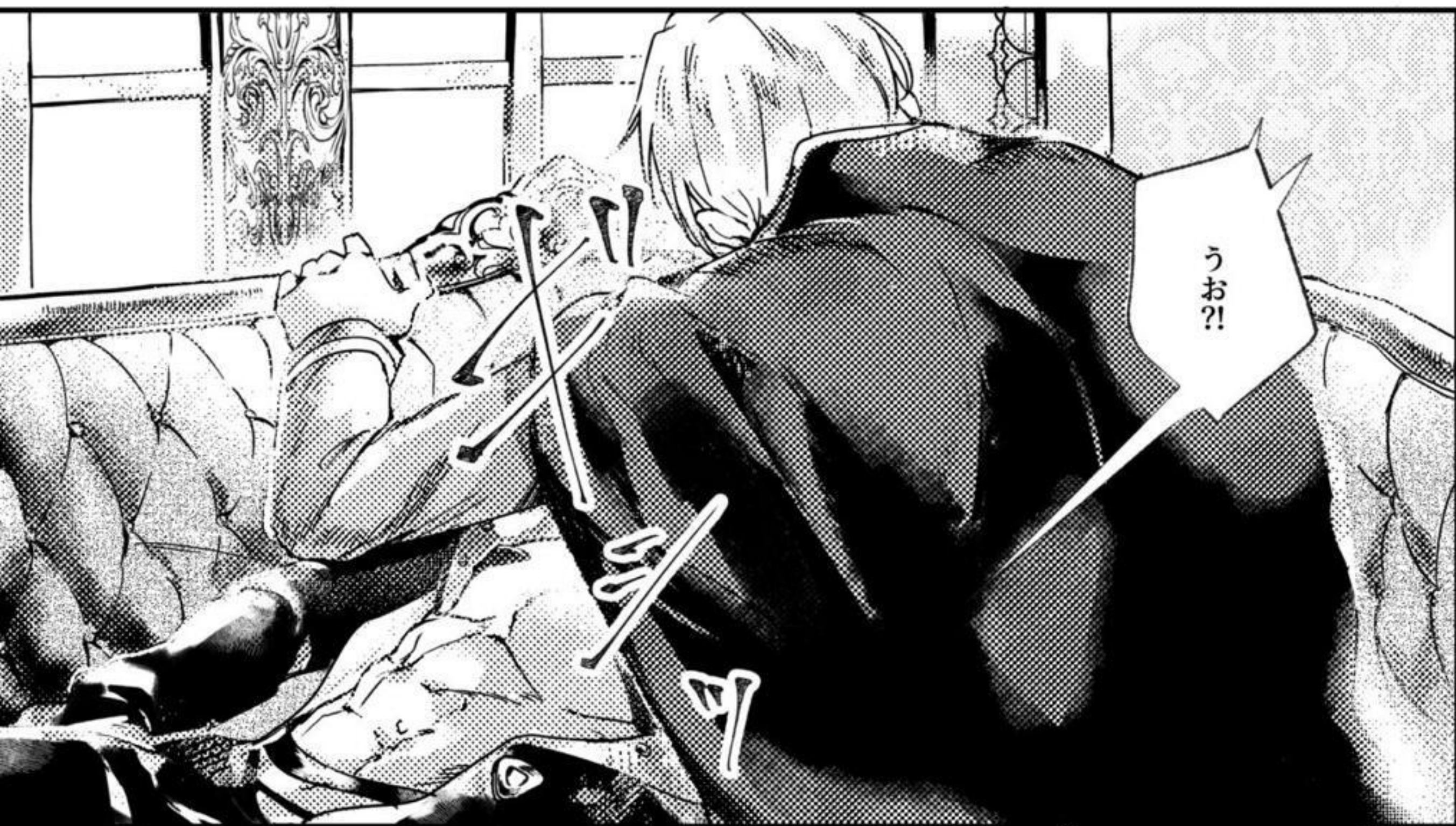
いいや
この一輪だけでいい

私は許される
のだろうか

手を差し伸べずに
いられなかったのさ









隠さないでくれ
顔を觀察させて
欲しいのだ

おまっ
近えって！



そもそも嫉妬って
なんだ

なんで俺は
ムカついてるのに
嬉しそうにしている



ふむ
怒りっぽくて
攻撃的になる
のだな

うるせえ



しかしそうだな…

そうなると私も
応じなければならぬ

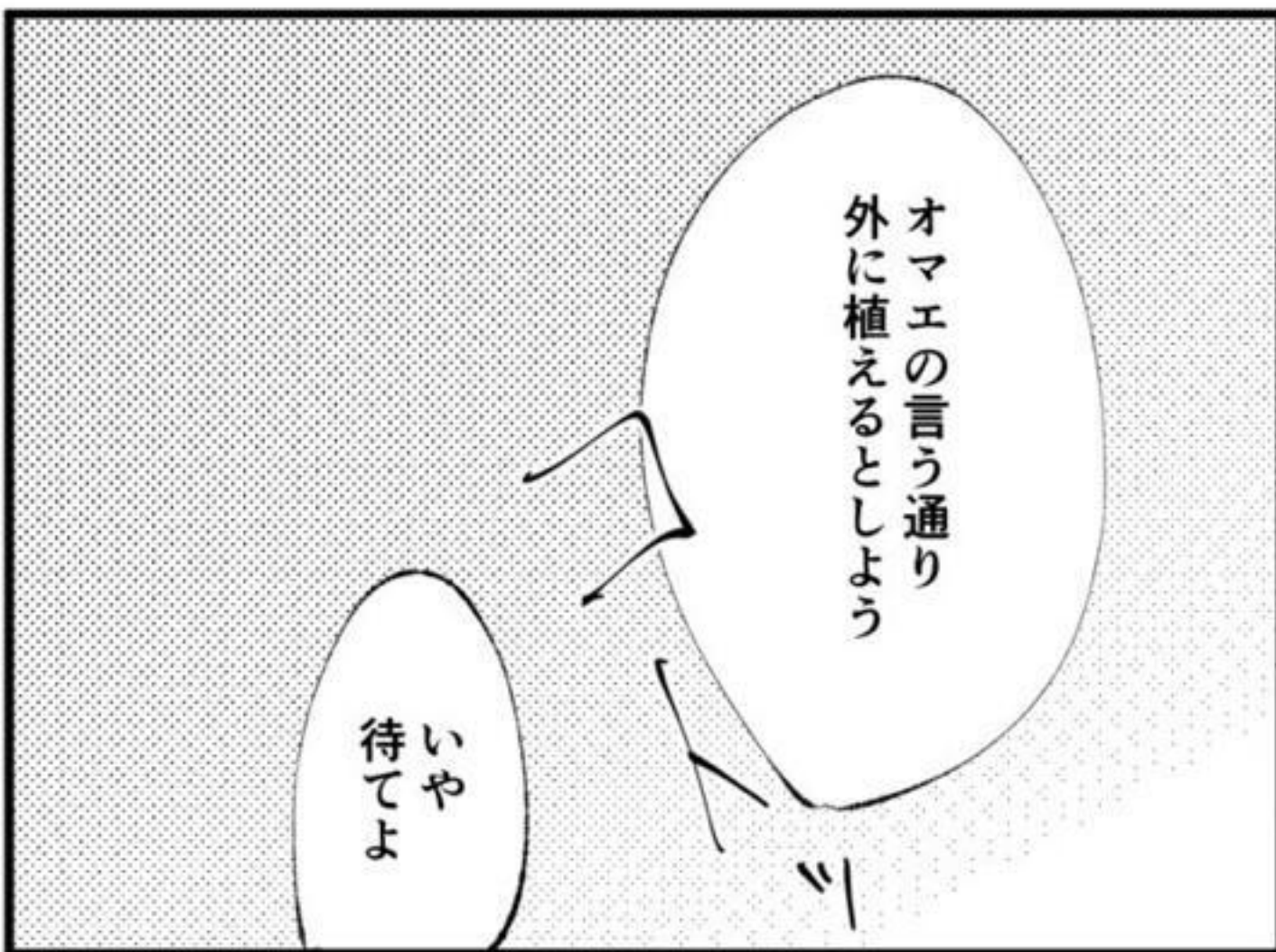
こいつ説明する
気ねえな



分からないのか？
サタンはヴィータ体でしか
表現できない繊細な感情を
獲得している

？

喜んで
当たり前さ！



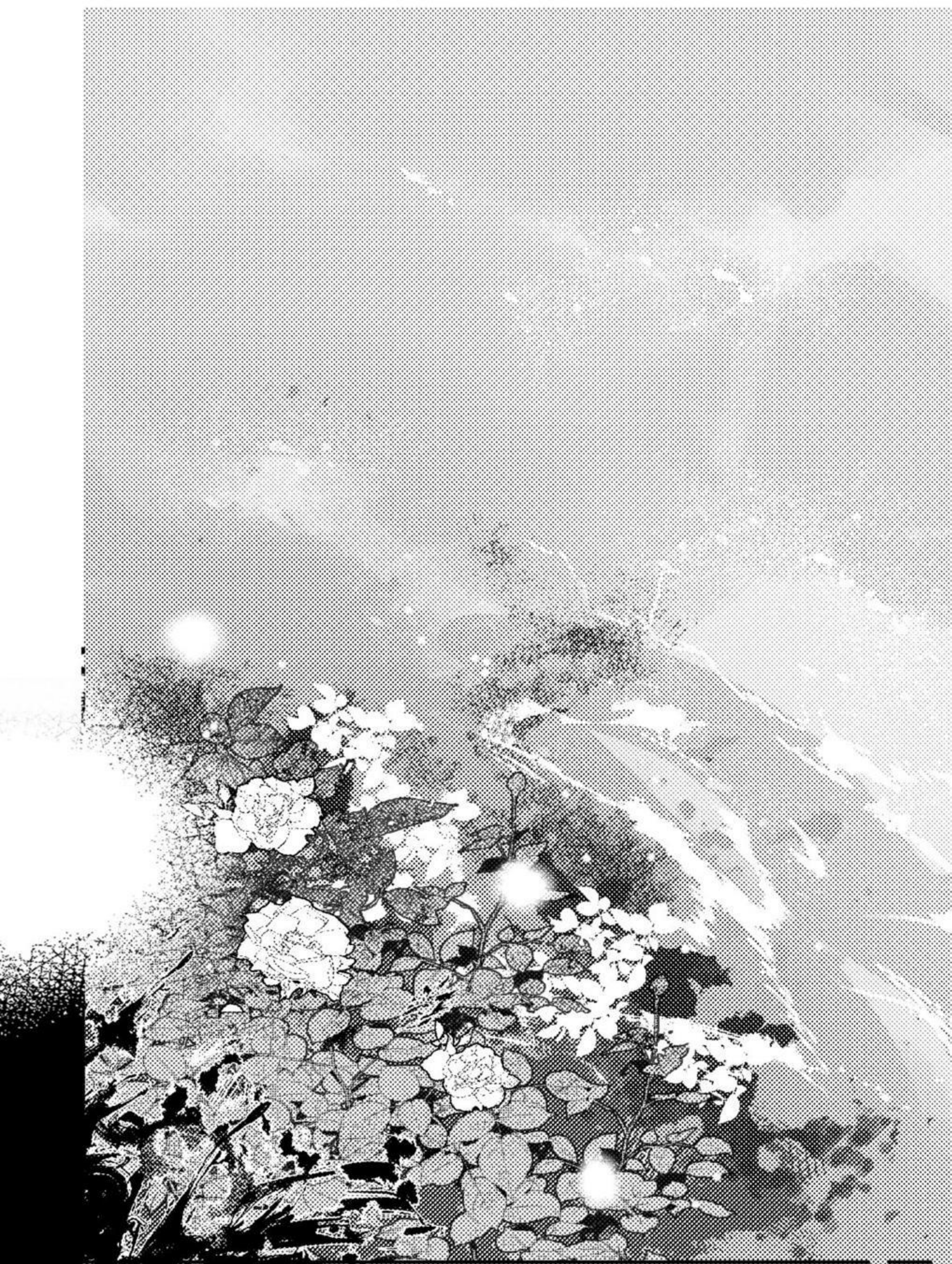
——いつか
このメギドラルを手に入れて
満遍なく花を咲かせよう

最初に私が選び

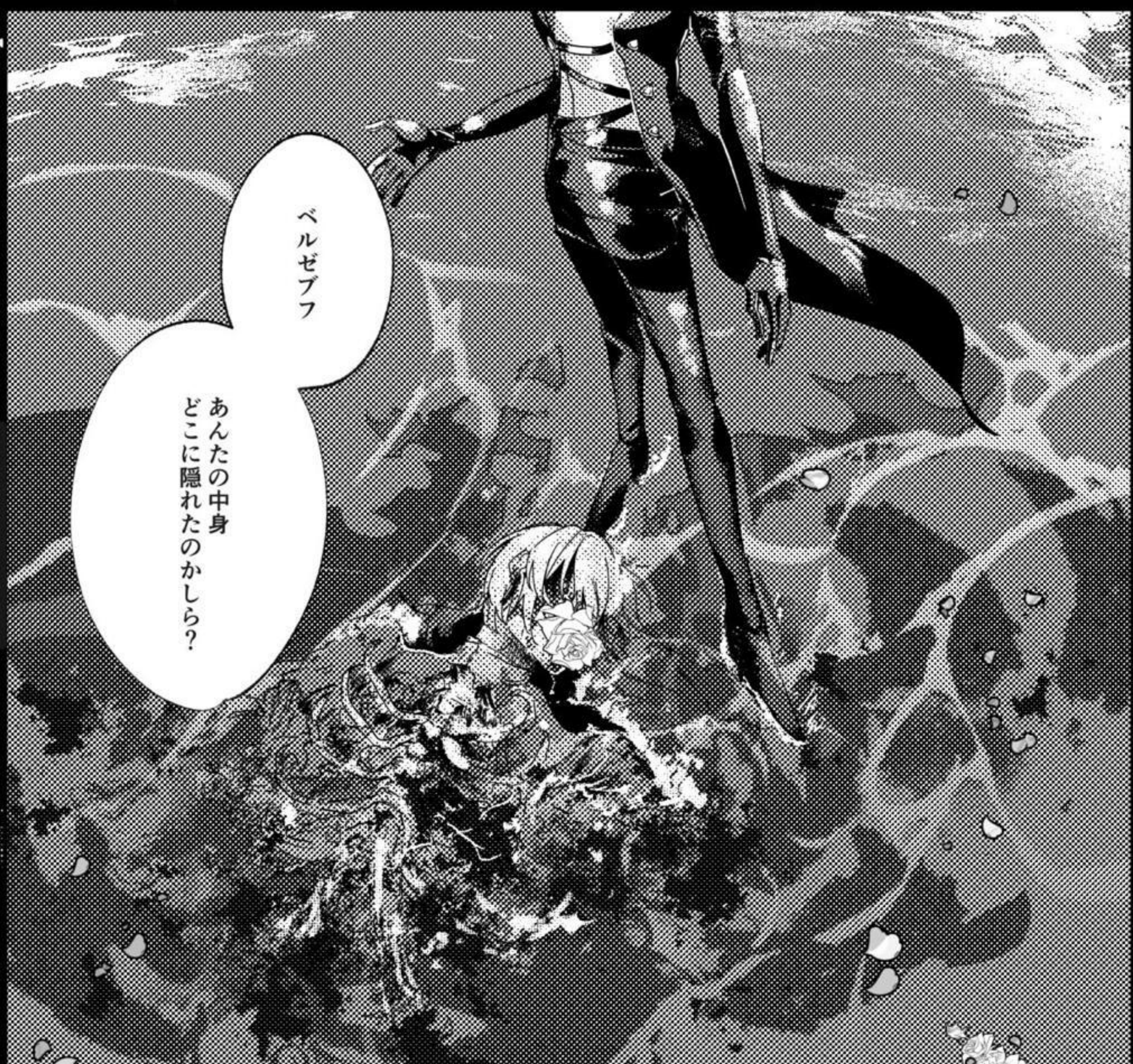
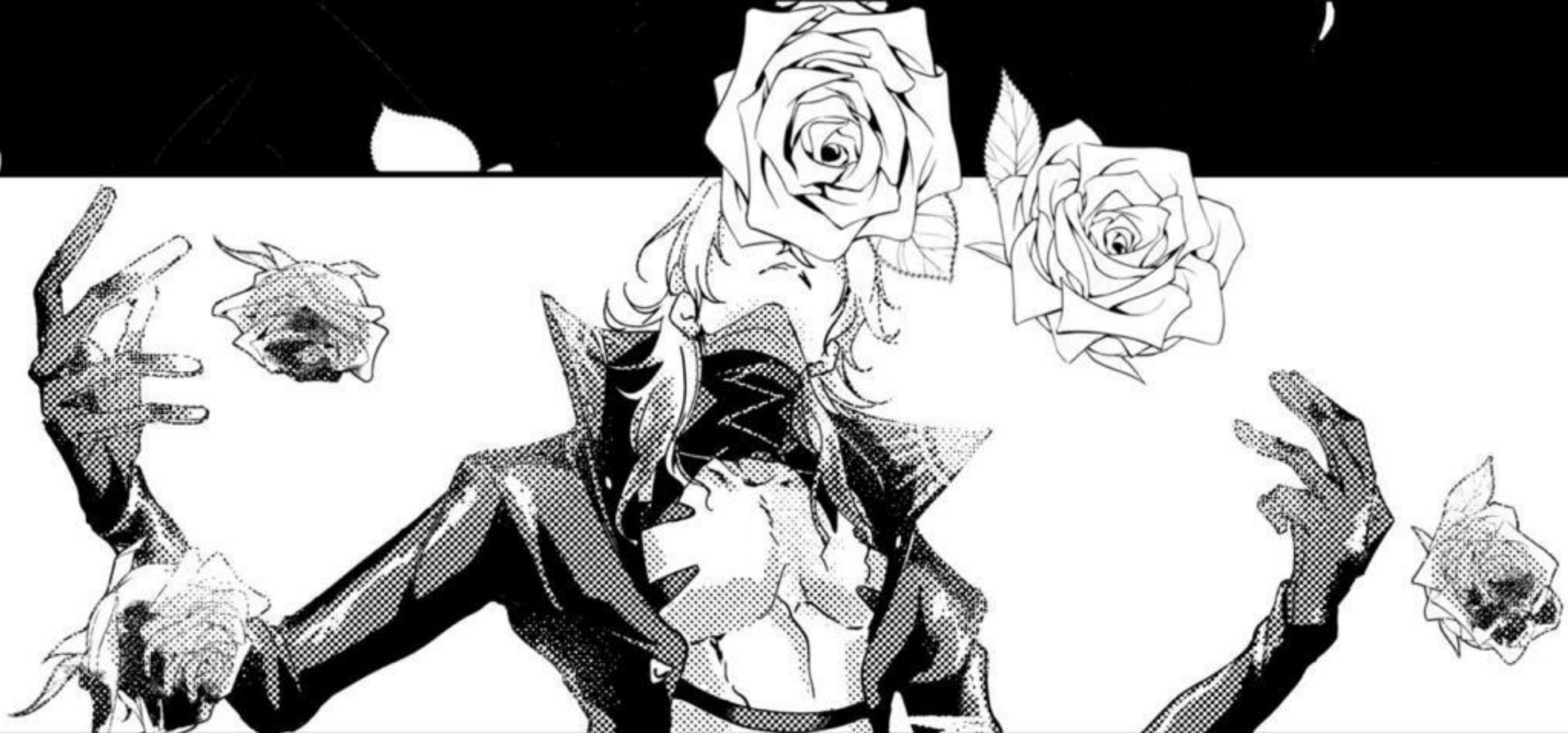
水を注ぎ

なつかせたこの一輪を
間違えるはずがない

私の薔薇なのだから









待て

サタン
私は断じて浮気
などしていない

いついかなる時でも
オマエのことしか
考えていない
信じてくれ

あ？なんの話だ…
じゃなくて

ベル
なぜ俺の目を見て話さない

…

オマエの視線は刃のようだ
胸の内を明かし曝け出す

私はそれが恐ろしい



ここには
俺とオマエしかいねえ
なにを恐れることがある？

ベル
オマエを見ているのは
「誰」だ









サタン
大丈夫

大丈夫だ



オマエが望むのなら
私の全てを差し出そう



だから
どうか
笑っていて欲しい

...

大丈夫、か…？

ク、
ククク…
すげーいいぜ

肉を引き
裂かれていく感覚
メギド体じゃ
中々味わえねえ

つまり痛い
のではないか

あ、こら

痛くて上等だ
オマエをよく感じる

奥まで来いよ
オマエので突き刺してくれ





ベルッ!!

俺を見ろ



サタン：
私はオマエに
酷いことを
しているのだ

これ以上はない
鮮烈な死と
生の喜びを

私は……



分かってるぜ
俺もだ





オマエの目に映るかぎり
私の価値は認められよう

例え私が
私じゃなくなっても

サタン

オマエさえいれば
私の存在は証明される



ベル
オマエの刻んだ功績を
俺は生涯忘れねえ

オマエの個は
俺と共にある



—だから



俺のために生きろ

敵が誰だろうと
抗え

戦争の始まりだ

クク
クク
クク

随分と
探させたじゃない

「ふん」にいたなんて

だからあたしの姿が
この仔になってるわけね

揃いも揃って
「執着」がすごいこと

一兆回目は
あたしの勝ちね



サタン
私の最期は



やはり
オマエに
殺されたいのだ

それを、愛と呼ぶだけ

megido72 unofficial fanbook #4
Beelzebub x Satan

ADORAgon/kurou
twitter: @megidoaka1
pixiv: 3124532

thanks: STARBOOKS

2022/03/25





Beelzebub/Satan

megido72 unofficial fanbook#04



Beelzebub / Satan
megido72 unofficial fanbook#0.1

[R18]
—FOR—
ADULT
ONLY
[]